

2024年は、全国的にカメムシの大発生がニュースになりました。福島県内でも例年以上にカメムシが出現して、果樹や庭木の被害が報告されました。

問題になっているのは、果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、ツヤアオカメムシ）とよばれる害虫です。この種類のカメムシは、もも、うめ、なし、かき、ぶどうなどの実に付いて養分を吸い取ります。虫が付いた実には傷がつき、落ちてしまうこともあります。

地球温暖化の影響で、もともと温かな地域に生息するカメムシの分布が、寒い地域にも広がっているといわれています。また、暖冬で越冬するカメムシが増えると、次の年の大発生につながるそうです。福島県内でも、環境や生態系の変化が進んでいる可能性のあることがわかります。身近で起こっている



○果樹カメムシ類
右上：チャバネアオカメムシ
左下：クサギカメムシ
右下：ツヤアオカメムシ

る小さな変化にも注意したいですね。



○果樹カメムシ類の被害果

ナシの被害果

モモの被害果

地球には人間だけでなく、様々な生き物が、他の生き物と関わり合って暮らしています。生き物たちと、それらが生きる自然環境をあわせて「生態系」といいます。



出典：「果樹カメムシ、今年はなぜ問題？発生生態と発生状況を正しく知ろう！！」
福島県病害虫防除所・農業総合センター果樹研究所

だってちゃんは、伊達市が千葉県白井市と友好交流協定を締結した際に贈られた、伊達市ゆかりのキャラクターです。

伊達市市民活動支援センター NEWS

2025 冬号

2025 (令和7) 年 1月発行 vol.61
企画・編集
伊達市市民活動支援センター
〒960-0756
福島県伊達市梁川町青葉町1番地
伊達市役所梁川総合支所庁舎3階
↑2024年9月から4階に移転中です
TEL: 024-563-6970 FAX: 024-563-6971
E-mail: bz004492@date-civilsupport.jp
HP: http://www.date-civilsupport.jp/

市民活動 いろは 教えて！だってちゃん

Q. シェアキッチンって何ですか？

A. 複数の人が使う共用の調理・厨房施設のことです。

1つのキッチンを複数の人が共同で使う形態をシェアキッチンといいます。共用キッチン、レンタルキッチン（時間貸しをしている場合）と呼ばれることもあります。シェアキッチンには2つのタイプがあります。①コミュニティ型キッチンは、食事会やイベント、ワークショップ等でコミュニティスペースとして使われます。②ビジネス型キッチンは、保健所の許可を得て、複数の料理人や飲食店等が共同で使用する業務用キッチンです。①コミュニティ型は、パーティーや料理教室など、料理や食事を通じた交流や親睦が目的です（調理したものを販売することはできません）。材料を持ち寄り、料理して、皆で食卓を囲む“お茶の間”のようなシェアキッチンは、人と人をつなげる場として注目されています。

他方、②ビジネス型は、施設基準を満たし、保健所の許可を得ているキッチンです。許可は「店舗」単位で申請・取得するものなので、目的の許可*を得ているキッチンがあれば、そこで自分が調理したものを不特定多数の人に販売することができます。物件や設備など、飲食店営業や菓子製造等の開始にかかる初期費用を抑えられることから、フードビジネスの起業やスタートアップの支援はもとより、空き店舗の活用など、まちづくりや地域の活性化策としても関心を集めています。“食”を通じ、多様なきっかけやつながりを生むシェアキッチン。可能性はまだまだ広がりそうですね。

*営業許可は「そうざい製造業」「菓子製造業」「飲食店営業」等に分かれています。食品衛生責任者の資格が必要です。



Check! 2025 あつまれだてな活動

♡ 伊達市 初開催 ♡ あつまれ「だてな活動」見る・知る・つながる ♡

市民活動が見える化 & 楽しくするイベントです。入場無料。参加申し込み不要。ぜひご来場ください。

イベント詳細は支援センターHPに掲載中です



【展示】	【ブース】	【イベント】
1月16日(木)~1月23日(木) 8:30~17:15 ※土日含む	1月16日(木)~1月23日(木) 各日12:30~13:30 ※平日のみ	1月23日(木) 13:30~15:30
伊達市役所1階 シルクホール展示ギャラリー	伊達市役所1階 シルクホール	伊達市役所1階 シルクホール
・市内団体の活動紹介 ・協働まちづくり課ご案内 ・広報誌NEWSバックナンバー ・「報道に見る市民活動」 協力：福島民報社 福島民友新聞社	・市内団体の活動紹介（対面、各日1団体） ・実技・実演（デモンストレーション）、参加型ワークショップなど	・市民活動交流会（フリートーク） ・ひとこと自己紹介 ・「映像に見る市民活動」 協力：伊達市ケーブルテレビ



五十沢地区
・人口：740人
・世帯数：280世帯
(2024年11月末現在)

五十沢自然を守る会

伊達市梁川町五十沢字宮下4番地1
(五十沢地区交流館内)

五十沢の原風景

私たちの会は、2007（平成19）年、農林水産省の事業実施に伴って発足しました。現在、構成員は農家・非農家を合わせて約280人。60-70歳代が中心ですが、20歳代も参加しています。五十沢自治会ははじめ、地区内の12団体が構成員として会の一角をなし、地域ぐるみで活動できる体制がとられています。

主な取り組みは、農業施設の維持管理と環境保全活動です。水路や農道などのインフラ整備に加えて、ため池の外來種の駆除やえごまの栽培、景観形成のためのざる菊の植

栽や地元小学校でのあんぼ柿加工体験も実施しています。荒れた農地に手を入れて整備したところ、利用者が現れ、再び活用されるようになりました。「五十沢よいとこ 陽当たりよくて 五月咲く花 四月咲く」。五十沢地区の自然、地形、気候、人々の暮らしや農業が形作ってきた風土は、地区出身者の心のよりどころです。この原風景を胸に築いた人が、いつの日か戻ることもあるかも知れません。

当たり前のこと…

共同作業の後に、労をねぎらう場を設け、ささやかなビジョンを語り合うのが一番の楽しみです。自分たちの住んでいる環境を手入れするのは、当たり前のこと…ではあるのですが、この度は、令和6年度福島県多面的機能支払推進協議会優良活動表彰で最優秀賞（福島県知事賞）を受賞することができ、大変励みになりました。

(090-3363-1476 遠藤)



だてな活動

伊達市市民活動支援センター

〒960-0756 福島県伊達市梁川町青葉町1番地
伊達市役所梁川総合支所庁舎3階
↑2024年9月から4階に移転中です
月～金曜日(年末年始除く) 午前8時30分～午後5時15分
※木曜日は午後7時00分まで

TEL: 024-563-6970 FAX: 024-563-6971

E-mail: bz004492@date-civilsupport.jp http://www.date-civilsupport.jp/

「伊達市市民活動支援センターNEWS」バックナンバーはHPからご覧いただけます。



QRコードから支援センターHP内の紹介ページにアクセスできます。

だてな活動

産業を興し、人を育てる

2024年7月、福島伊達教会を拠点に桑の木会が発足しました。「地域の歴史を刻んだ先人に学びたい」。1891（明治21）年の創立以降、旧伊達町（旧伊達郡長岡村/伏黒村）と歩みを共にしてきた同教会の思いに共鳴した人が、教会内外から集い、活動しています。

江戸時代から養蚕が営まれてきた旧伊達町周辺では、明治時代以降、蚕種（蚕の卵）や桑苗の生産、製糸といった周辺産業の地理的な集積が進み、専門性を持った各業者が協力して一帯を繁栄させました。養蚕を一大産業に育て上げた先人たちは、個々の家業の盛衰はもとより、地域や日本の経済の屋台骨を支える立場から、その行く末を案じていたようです。養蚕の技術向上はもちろん、その技術を



もともと、地域や日本の経済の屋台骨を支える立場から、その行く末を案じていたようです。養蚕の技術向上はもちろん、その技術を

桑の木会

伊達市片町34番地



用いて働く人材の育成にも熱心に取り組んでいます。例えば、昨年150周年を迎えた伊達小学校の創立に先駆けて、旧伊達町内には複数の私塾が開講されていました。長岡にあった製糸工場にも、女工さんたちの学校が開設されています。誰もが学び、誇りを持って仕事に臨んで欲しい。そんな先人たちの思いに対しては、時代を超えて感銘を覚えます。

地域のタテ・ヨコ 仲間づくり

先人たちの歩みをたどり、地域の成り立ちを知ること、今に生きる子どもたちがふるさとに誇りを持ち、愛着を感じることに繋がります。現在の伊達町には、古くから住んでいる人と、新たに転入してきた人が混在していますが、100年以上前に生きた先人の力を借り、大人も子どもも、みんな仲間になって地域を大切に思う気持ちを育てていきたいです。（090-1175-3033 白井）



だてな活動



霊山道先案内人会

伊達市霊山町下小国字力持18

名峰・霊山（りょうぜん）HPはこちら



名峰・霊山の案内人たち

私たちの会は、1997（平成9）年に旧霊山町で発足しました。現在の会員は、40歳代から80歳代まで、男女合わせて35名です。名峰・霊山の豊かな自然と歴史に学び、守り、伝える取り組みをしています。

主な活動は登山ガイド。各種登山ツアーや個別のお問合せに対応します。毎年5・11月開催の縦走ツアーは人気が高く、今年も満員御礼でした。花めぐりや歴史探訪など、テーマ別ツアーも開催しています。お客さんと一緒に歩き、史跡や奇岩、草木、絶景など案内して、素晴らしさを共にすることが活動の喜びです。

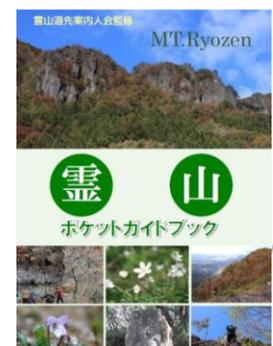


2021年には、道先案内会の監修で「霊山ポケットガイドブック」を発行しました。登山ガイド20数年の知見が詰まった珠玉の一冊が、ワンコイン500円でお求めいただけます。霊山の知名度向上はもとより、道先案内会の認知度アップにもつながりました。

霊山を愛するファンクラブ

ガイドに出ない時も山を丹念に歩き、山道の点検・補修、景観の保全に努めています。霊山が本当に好きなのです。道先案内会＝ガイドの会というイメージからか、ハードルが高いと感じる人もいられるかもしれません。実際には、会員の活動への関わり方は様々。共通するのは霊山への思いです。

たとえ山に登らなくても、霊山を誇り、愛するという人は多くいることでしょう。今後、霊山のファンクラブとして仲間を募り、活動を続けていければと思っています。（080-1850-3015 森藤）



NPO だて文庫

NPO だて文庫 サービスセンター

伊達市保原町字久保75-1

だてな活動

読者の反応がうれしい

2024年4月、有志が集い任意団体「NPO だて文庫 サービスセンター」を発足させました。伊達市教育委員会の「だて文庫」が終了した翌月のことです。本の寄贈を受け、設置者を募って「だて文庫」のケースを設置し、2か月に1度本の入れ替えをしています。これまで受け入れた本は、伊達市図書館からの無償譲渡を含めて約5,000冊。「だて文庫」の設置は、伊達市、国見町、桑折町を合わせて約120カ所に上りました。

「だて文庫」は、お店やスーパー、銀行、地区交流館など、日常的に行き来する所や、一息つける場所に



設置されています。「ここに本があって良かった」と喜んでもらえるのが何よりです。貸出簿に子どもの

字があるのも励みになります。入れ替えに行って、本の並びが変わっているのを見るだけでも、手に取った誰かのことが思われ、うれしい気持ちになります。

「読書のまち」づくり

あらゆるところに読書の環境があり、誰もが読書に親しむ姿が見える。私たちはそんな「読書のまち」づくりを志しています。読書は、知識だけでなく、考える力や想像する力、表現する力などを養います。「だて文庫」の活動を通じて、私たちが互いを思いやり、助け合い、より豊かな人生をともに歩んで行く、そんな「まち」づくりをしていけたらと思います。

本の寄贈と「だて文庫」の設置場所は、常時募集しています。スタッフ希望者も歓迎します。（024-575-1230 菊田）



月舘町
・人口：2,747人
・世帯数：1,179世帯
(2024年11月末現在)

月舘地域自治組織連絡協議会

伊達市月舘町月舘字ウルシ坊19-1
(月舘中央交流館内)

だてな活動

月舘町 ヨコのつながり

月舘地域自治組織連絡協議会（自治連協）は、2015（平成27）年、地域自治組織の設立に伴い発足しました。月舘町には大字単位で6つの自治組織がありますが、人口が少ないのでそれぞれの規模も小さく、できることが限られています。ヨコの連絡を密にとり、連携によって運営の負担を軽減し、地域での活動をより円滑に進めていきたい。自治連協の発足にはそんな思いがありました。2020（令和2）年からは、6つの自治組織がそれぞれ交付金から資金を拠出し、自治連協の事務局運営にあてる仕組みになっています。

“それぞれ” “みんな”



各地区にはそれぞれ事情があり、自治組織のニーズも様々ではありません。広報など、単独での対応が難

しかったり、規模をもって臨んだ方が効率が良いものには自治連協があたり、地区の資料印刷等、庶務・事務も支援するようにしています。

また今秋、月舘町で開催された高齢者対象の交流の場「元気がいい!月舘」には、自治連協が主催の一人（実行委員）として参画しました。当日、各地区から参加した高齢者の人数に応じて、それぞれの自治組織が経費の一部を負担します。単体では企画・調整、運営の難しい行事であっても、自治連協が町内の各種団体と連携し、結果として地域の皆さんに楽しんでもらうことができました。

それぞれが地域に寄り添い、みんなで解決していく。人口が少なくなっても、住んでいる人が「住んでいて良かった」と思える月舘町であって欲しいという気持ちは共通です。（024-572-2133 齋藤）

『自治連協だより』は伊達市HPでご覧いただけます

